

試合番号 : 485	試合会場 : 深谷市総合体育館 (深谷ビッグタートル)	観客数 : 1,200		
開始時間 : 11:00	終了時間 : 12:38	試合時間 : 01:38		
主審 : 品川 美帆	副審 : 高橋 宏明			
久光スプリングス	通算 24勝 9敗 ポイント: 69	23 第1セット 25 25 第2セット 18 25 第3セット 14 25 第4セット 14 第5セット	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 10勝 23敗 ポイント: 28
監督コメント	いつも通り試合を楽しむことは忘れずに、V・レギュラーラウンド最終戦を戦おうと意気込んで本日を迎えました。第1セットは、自分達の攻撃をうまくすることができず、第2セット以降、少しずつ修正をかけてきました。セットごとに、相手に対応し、自分達の良いところを出し回数が増えたことが勝因です。V・レギュラーラウンド全33試合、熱い応援ありがとうございました。V・ファイナルステージもV・レギュラーラウンド以上の試合をファンの皆様にお見せできるように、しっかり準備していきます。引き続き、応援よろしくをお願いします。	3	1	監督コメント シーズン最終戦ということで、全選手、スタッフが全てを出し切ろうと臨んだゲームでした。第1セットは、相手チームのパワーある攻撃や高いブロックに対し、対応し攻めることができました。しかし、第2セット以降は決め手を封じられ、思うような展開に持ち込むことができませんでした。リーグ戦を通して、大勢の方に応援していただき、心より感謝申し上げます。ホームゲームは当然のこと、アウェイでのゲーム、またV・TVで応援していただいた方の声援が選手たちの力となりました。まだまだ力不足のチームではありますが、引き続き共に戦っていただくとともに、改めまして、今シーズンの応援、ありがとうございました。
要約レポート	ファイナル4進出をかけた久光スプリングスと、KUROBEアクアフェアリーズのV・レギュラーラウンド最終戦。第1セット、KUROBEはイヴェットの力強いアタックや高橋の鮮やかなブロックなどで序盤からリードし、順調に得点を重ねた。久光は石井の活躍で追い上げ、一進一退の攻撃が続くが、KUROBEはコンビプレーや効率的なサーブでセットを先取した。第2セット、久光はファンヘッケの鋭いアタックと荒木、石井のブロックでリードする。KUROBEはメンバーチェンジを行い全員で相手の隙を突き、キレの良いアタックで追い上げる。しかし、久光は荒木、中島によるコンビプレーやファンヘッケ、荒木の小気味良いブロックでこのセットをものにした。第3セット、7-7まで一進一退の観客を沸かせるラリーとなった。しかし、久光の荒木、中島が並んだブロックは堅く、KUROBEの果敢な攻撃を阻みリードしていく。その後もKUROBEは梅津、住田、高橋らが攻撃を重ねるが、久光は濱松、ファンヘッケ、石井によるブロックが鉄壁のディフェンスとなり、大差でセットを連取した。第4セット、久光がテンポよく攻撃へつなぎリードする。KUROBEはチームワークで粘り強くボールを拾い、梅津、高橋のアタックへと持ち込んで点差を縮めていく。しかし、久光は荒木や中島、濱松、ファンヘッケらの気迫の籠ったアタックを相手コートに打ち込み続け、最後は長岡のエンドラインを突くアタックで勝利し、ファイナル4進出を決めた。			

試合番号 : 486	試合会場 : 深谷市総合体育館 (深谷ビッグタートル)	観客数 : 1,592		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:27	試合時間 : 01:27		
主審 : 津嶋 由香	副審 : 饗庭 和恵			
埼玉上尾メディックス	通算 24勝 9敗 ポイント: 70	21 第1セット 25 16 第2セット 25 24 第3セット 26 第4セット 第5セット	NECレッドロケッツ	通算 23勝 10敗 ポイント: 73
監督コメント	V・レギュラーラウンド33試合、ひとつも楽な試合はありませんでした。緊張や不安、プレッシャーのかかる中、選手たちが強い気持ちを持って戦ってくれたことで、ファイナル4へのチケットを手に入れることができました。選手たちがパフォーマンスを発揮できたのも、サポーターの皆さんのご声援やSNS等でのメッセージが背中を押してくれたからです。サポーターの皆さん、最後まで一緒に戦いましょう。今日は非常に残念な結果になりましたが、この悔しさを糧にして、最後まで成長し続けます。本日もご声援ありがとうございました。	0	3	監督コメント この試合を取りきることができたことをまずは喜びたいです。ここまで苦しい戦いが続いていましたが、今日の一戦まで目の前の試合を一つひとつチーム一丸となって戦うことができたこと、自分たちのバレーを信じて戦えたことが大きいと感じています。これからファイナルに向けた準備と戦いが始まります。チャレンジャーとして挑んでいきたいと思えます。アウェイでの戦いでしたが、たくさんのクルーの皆さんにお越しいただき、背中を押してもらいました。本当にありがとうございました。V・ファイナルステージもよろしくをお願いします。
要約レポート	ホームの歓声を受け、勝利でファイナル4へ臨みたい埼玉上尾メディックスと、勝利してファイナル4を自力で勝ち取りたいNECレッドロケッツのV・レギュラーラウンド最終戦。第1セット序盤、NECは山内、古賀のアタックにより優勢に進めるが、埼玉上尾は目黒のサービスエース、青柳のブロックで均衡した試合展開となる。両チームともアタック、ブロックが決まり続け、終盤まで手に汗握る展開となる。埼玉上尾は目黒、山岸のファイナルや佐藤のアタックで粘ったが、最後は山内のアタックによりNECがセットをものにした。第2セット、NECは古賀、ウィルハイトのアタックが決まり6点リードする。追いつきたい埼玉上尾はサンティアゴのアタック、ブロックや佐藤、仁井田、青柳で応戦するが、終盤、NECは山内、山内の得点によりセットを連取する。第3セット、埼玉上尾は目黒、仁井田、NECは古賀、島村のアタックにより均衡した展開となる。中盤、埼玉上尾は岩澤の粘り強いレシーブや、山崎のブロック、目黒のアタックにより逆転に成功する。終盤、NECはウィルハイト、古賀のアタックで追いつき、最後はウィルハイトのサービスエースで勝利し、ファイナル4進出を決めた。			

試合番号 : 487	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 1,697		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:09	試合時間 : 02:09		
主審 : 明井 寿枝	副審 : 長崎 有紗			
ヴィクトリーナ姫路	通算 5勝 28敗 ポイント: 20	25 第1セット 20 20 第2セット 25 23 第3セット 25 23 第4セット 25 第5セット	日立Astemoリヴァール	通算 14勝 19敗 ポイント: 42
監督コメント	ホーム最終戦に多くの皆様にご来場賜り、誠にありがとうございました。昨日の敗戦から、選手一人ひとりが気持ちを奮い立たせて戦ってくれました。第3セットと第4セット、接戦でセットを取り切れなかった要因を明らかにして、修正および強化に努め、十分な準備をしてV・チャレンジマッチに臨みたいと思います。引き続きご声援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。	1	3	監督コメント 今シーズン日立Astemoリヴァールへの熱いご声援ありがとうございました。苦しい時も共に戦っていただき、とても心強かったです。満足いく結果は出せませんでした。応援して下さった皆様のおかげで最後まで戦い抜くことができました。最終戦もチーム一丸となり勝利で飾ることができ嬉しく思います。まだまだ課題が多くの残存状況ですが、この現実を受け止め、今感じていることや想いを忘れず、無駄にすることなく、しっかりと反省し次に繋げます。来季のリーグ戦は「優勝」を目指し戦います。引き続き日立Astemoリヴァールをよろしくをお願いします。
要約レポート	ヴィクトリーナ姫路のホーム最終戦は、日立Astemoリヴァールを迎える一戦。第1セットは中盤まで一進一退の攻防となった。日立Astemoはオクム大庭の連続スパイクで抜け出そうとするが、姫路は佐々木、櫻井、宮部の連続ブロックで流れを引き寄せ、古市のスパイクでセットを先取した。第2セット、日立Astemoは序盤から長内のスパイクでリードする。姫路は途中交代が入った清田がサービスエースを決めるも、日立Astemoは渡邊のブロックが決まり、セットを取り返した。第3セット、姫路は中盤に途中交代が入った野津の連続スパイクやブロックで流れを掴み、松本や田中のスパイクでリードを広げる。しかし、日立Astemoは室岡のスパイクや入澤のブロックで逆転し、セットを連取した。第4セットは中盤まで競った展開となったが、日立Astemoは野中のスパイクでリードする。姫路は花井を中心としたレシーブで粘りを見せるが、日立Astemoは長内がスパイクを決め、セットカウント3-1で勝利した。			

試合番号 : 488	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 612		
開始時間 : 16:15	終了時間 : 17:36	試合時間 : 01:21		
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 増岡 三佳子			
JTマーヴェラス	通算 23勝 10敗 ポイント: 67	25 第1セット 17 26 第2セット 24 25 第3セット 12 第4セット 第5セット	トヨタ車体クインシーズ	通算 14勝 19敗 ポイント: 39
監督コメント	今日どんな時でもファイティングスピリッツを持って戦うことをチーム全員がテーマとした。心・技・体のハードワークに加え、頭脳を使い、相手が今どうしているのか、何をしたいのかをコート内の選手が考え実行してくれた。しかし、どんなにチームが一つになろうとしても、歯車が噛み合わなくなる部分が出てきました。JTマーヴェラスをサポートして下さる皆様、今シーズンありがとうございました。まだまだチームとして足りない部分がありますが、また温かいご声援をよろしくお願いたします。	3	0	監督コメント リーグ最終戦、なんとしてでも勝って終わりたいかったが、第2セットをリードしたものの取り切れなかったところが敗因でした。8位という結果で終え、非常に残念であるが、結果以上に選手はよくやったと思います。また、成長できたシーズンだったと思います。今シーズンもご声援ありがとうございました。来シーズンさらにチーム力を高め挑戦しますので、引き続き応援よろしくをお願いします。
要約レポート	ヴィクトリーナ・ウイング体育館でのJTマーヴェラスとトヨタ車体クインシーズのシーズン最終戦。第1セット、JTはロウが力強いスパイクを決め、序盤から流れを掴む。トヨタ車体は周田やハッタヤの速攻で巻き返しを図るが、25-17でJTがセットを先取する。第2セット、トヨタ車体はダニエル2本連続サービスエースから勢いに乗り一気に突き放す。JTは林のスパイクが決まると、和田、塩出の二枚替えから流れを取り戻し逆転に成功する。トヨタ車体もダニエルの攻撃でデュースに持ち込むが、最後はJTが逃げ切りセットを連取した。第3セット、JTはセッター 塩出をスタートから起用し、西川の強烈なスパイクとタットダオの素早い攻撃を仕掛ける。トヨタ車体は嶋原、大川のスパイクで反撃するが、JTの勢いは止まらず、セットカウント3-0でJTが最終戦を勝利で飾った。			